

## おもてなし情報発信プロジェクトの取り組みについて ～おもてなし情報発信試行プログラムの実施に向けて（案）～

### 1. 試行プログラムの概要

平成20年度は、今秋の大津祭、スポレク、商工会議所青年部全国大会の時期に合わせ、以下の2つのプログラムを試行的に行う。

#### (1) イベントをつなぐしくみづくり

本プロジェクトに参加しているメンバーが期間中に連携し、その上で本プロジェクトが仲介役となり、さらに多くの団体が連携できないか呼びかける。さらに情報共有の手法として、**懶人まちづくり**大津のホームページ上で、期間中のイベントスケジュールを掲載し、連携の呼びかけを行う。ここでの成果を検証し、今後のイベントをつなぐしくみづくりを強化する。

連携1： 大津祭と商店街イベント

連携2： スポレク滋賀2008と大津まちなか食ウォーク

連携3： 商工会議所青年部全国大会と楽食長卓宴

#### ●期間中のイベントスケジュール

	10月	11月	12月
ようこそイルミネーションロード	10月4日～12月31日		
灯りの写真展	10月4日～12月31日		
イルミネーション点灯式	10月4日		
<b>大津祭</b>	10月10・11日	連携	
商店街灯りイベント	10月10・11日		
<b>スポレク滋賀2008</b>		10月18日	連携
大津まちなか食ウォーク		10月18日	
<b>商工会議所青年部全国大会</b>			11月6～9日
楽食長卓宴			11月8日

## (2) インターネットでマップ作成

インターネットを用いた情報発信の第一弾として、昨年に食と灯りの祭実行委員会が紙ベースで作成し好評を得た「大津まちなか食マップ」をウェブ上で作成し、大津まちなかの飲食店舗情報を全国に向け発信する。ここでの成果を検証し、今後、歴史や文化などの観光情報や町家情報の発信につなげる。

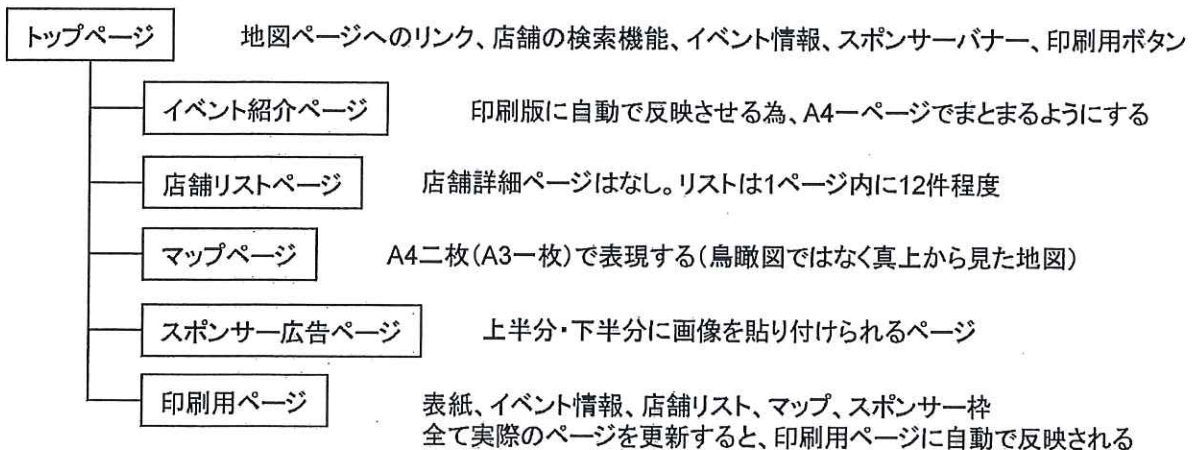
- ・大津まちなか食マップをインターネットで作成する
- ・利用者がプリントアウトして使用できる仕組みをつくる  
(必要なものは実行委員会で印刷)
- ・商工会議所青年部全国大会などで活用してもらう

<サイト制作会社からの提案内容>

### ■目的

毎年印刷にかかるお金をなるべく減らし、最新情報を常に表示させる為、印刷マップをweb化する。ただし、印刷して持ち歩くことを想定するため、全てA4でプリントアウトできるようにする。  
(※検索エンジンでのキーワードは「大津・マップ」で上位にヒットさせたい。)

### ■ページ構成



## 大津まちなか食と灯りの祭 2008 事業計画

**目 的** おもてなしを通じて大津まちなかに関する情報を発信することを目的として、『大津まちなか食と灯りの祭』を開催する。

大津まちなか食と灯りの祭では、大津のまちなかに生きづく食の文化や灯りをテーマに、商店街や琵琶湖岸など中心市街地全体を会場とした市民参加イベントを開催し、活性化を図るとともに、期間中にまちなかを訪れる方々を温かくおもてなしするものである。

**実施期間** 平成20年10月4日〔土〕～平成20年12月31日〔水〕

**会 場** 中心市街地一帯

**主 催 者** 大津まちなか食と灯りの祭実行委員会

### 事業内容

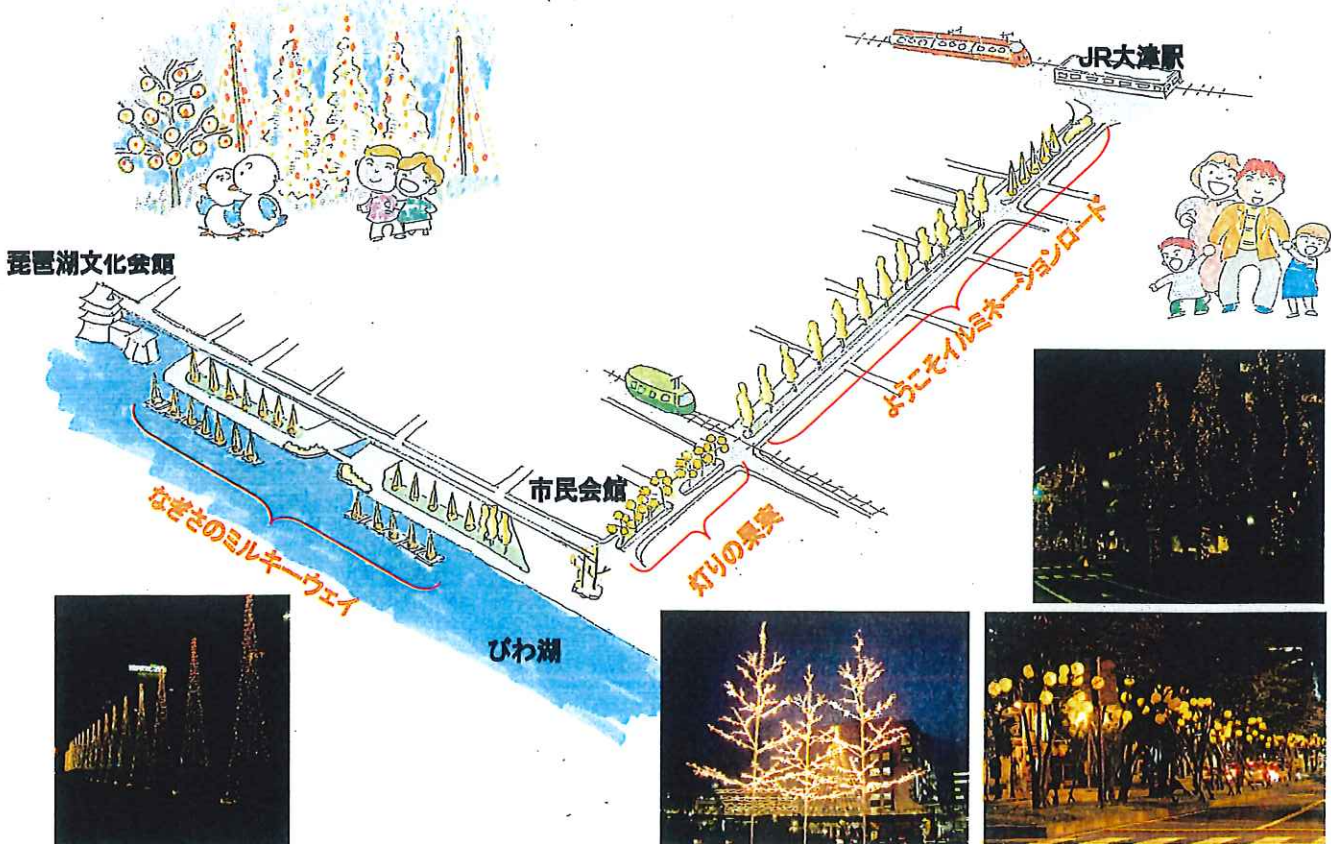
(1) ようこそイルミネーションロード・灯りの果実・なぎさのミルキーウェイ

主 催：NPO法人大津倶楽部 大津まちなか食と灯りの祭実行委員会

期 日：平成20年10月4日〔土〕～平成20年12月31日〔水〕

場 所：大津中央大通り街路樹 なぎさ公園（大津中央大通りから琵琶湖文化館まで）

内 容：大津駅前から琵琶湖までの中央大通りの街路樹と中央大通りから琵琶湖ホールまでのなぎさ公園内にイルミネーションを行うことにより、大津を訪れた人々をあたたかくお迎えするもの。



(2) 商店街灯りイベント

主 催：ナす美の会 大津まちなか食と灯りの祭実行委員会

期 日：平成20年10月10日 [金]、11日 [土] (大津祭 宵々宮 宵宮)

場 所：ナカマチ商店街周辺

内 容：ナカマチ商店街を中心としたまちなかに、市民の方の手作りの灯りなどを展示し、大津を訪れた人々をあたたかくお迎えするもの。空き店舗を利用したの灯り作品展や酔々醸亭（商店街のおいしいものと地酒のふるまい）も開催する。



(3) イルミネーション点灯式

主 催：大津まちなか食と灯りの祭実行委員会

期 日：平成20年10月4日 [土]

場 所：大津中央大通り街路樹 なぎさ公園（大津中央大通りから琵琶湖ホールまで）

内 容：大津祭の山建てに併せ、食と灯りの祭を開始。イルミネーションの点灯式を行い、「大津まちなか食と灯りの祭」を華々しくスタートさせる。

併せて、食と音楽をテーマにしたおもてなしイベントも開催。



(4) 灯りの写真展

主 催：大津まちなか食と灯りの祭実行委員会

協 力：浜大津春待ち灯り実行委員会

期 日：平成20年10月4日 [土] ～ 平成20年12月31日 [水]

場 所：大津市社会教育会館

内 容：浜大津春待ち灯りで募集した灯りの写真等を社会教育会館で展示

(5)大津まちなか食ウォーク

主 催：大津まちなか食と灯りの祭実行委員会

協 力：寺町商店街、ナカマチ商店街、浜大津商店街、滋賀リビング他

期 日：平成20年10月18日 [土]

場 所：寺町商店街、ナカマチ商店街、浜大津商店街

内 容：商店街の飲食店舗の協力を得て、商店街の回遊型イベントを実施し、大津を訪れた人々をおもてなしするとともに、商店街についての情報を発信するもの。



(6)楽食長卓宴

主 催：社団法人滋賀県司厨士協会 大津まちなか食と灯りの祭実行委員会

期 日：平成20年11月8日 [土]

場 所：びわ湖ホール周辺

内 容：有名ホテルのシェフさんが行う1日限定の夢の屋台村。



(7)大津まちなか食マップ

主 催：元気回復委員会 (株)まちづくり大津 大津まちなか食と灯りの祭実行委員会

協 力：滋賀リビング 大津商工会議所青年部

内 容：地元の人たちや(株)まちづくり大津、商工会議所青年部によって集められた食に関する情報を集めたマップを作成し、ホームページで配信したり、配布したりすることにより、大津を訪れた人々をおもてなしするとともに大津まちなかの飲食店舗の情報を発信する。

(株)まちづくり大津のホームページで公開すると共に5千部程度印刷して配布



## □第1回おもてなし情報発信プロジェクト会議 議事録

---

日 時： 平成20年5月12日（月） 午前10時00分～午前11時30分

場 所： 社会教育会館 1階会議室

参加者： メンバー 福井、木村、八森、勝部、井上、山本、高栖

オブザーバー 加藤、浦野

事務局 山下、堀出、高木、山中

(50音順・敬称略)

---

### 1. 開会（福井）

### 2. メンバー自己紹介

### 3. 本プロジェクトに関する概要説明（事務局）

### 4. 意見交換

- ・大津のまちなかでは、今まで単発ではいろいろなことをやってきたが、いつ何をするかという情報を発信する時期が遅すぎるため、連携ができていない。早い段階で予定を把握できるだけで連携が可能となり、効果があがるということがたくさんある。
- ・春待ち灯りは、冬でないといけないものなのか。他と一緒にはないものなのか。例えば、イルミネーションを付けるときに、点灯式などがあるが、そこにはたくさん人が訪れる。そういう時に、何かイベントをやることは可能ではないか。
- ・大津祭のオペラについても、オペラが終わって出てみると、湖岸に灯りがある。それをたどっていくと大津祭がある。さらにそれに併せて催しものがあれば、小さなものでも効果は大きい。灯りのイベントも灯りだけでなく、飲食店情報などを配布して、その後まちなかにつなげていく必要がある。残念なのは、夜や日曜は休みの商店が多いことだ。
- ・商工会議所青年部の全国大会が大津であり、11月6日（水）～9日（日）の期間に4,000人ほどの来場者がある。その中で最も困っているのが夜のもてなしをどうするかということで、京都に人が流れてしまいそうである。場合によっては宿泊までとられてしまう。その時には、周辺のホテルとタイアップし、こんな店があるというガイドマップも作る。
- ・夜の店は載っていないが、ガイドマップは去年食灯祭の中で既に作成している。
- ・パワーアップの事業で採択されたジャズフェスティバルなども、サマーフェスタでやるが、他にまちなかでもやらないとダメである。こういう時に情報が把握できていればこの時期にこのあたりでやってもらえませんかと言える。このプロジェクトは、そういうことを皆さんに提供して、皆さんに入ってきてもらってという核となったらいいと思う。
- ・ここに相談すれば、何か相談にのってくれるという信頼のおける場にしたい。
- ・情報を共有する手立てと皆が集まってくる手立てを考えていく必要がある。多数の人がいろいろやっているのだから、それを連携できるかできないかは別として、情報が集約される方法を検討する必要がある。

- ・ 大津祭とスポーツレクリエーション大会と商工会議所青年部の全国大会の時期に、いかに情報を上手に集め、結び付けていくかのテストケースとして、集め方、活かし方を検討できたらいいなというのが今日のまとめである。これで上手にできれば、蓄積が今後にも活かしていけるであろう。春待ち灯りについては今後考えるとして、大津祭とスポーツレクリエーション大会と商工会議所青年部の全国大会の時期にはちょうど食灯祭があたるので、このあたりのことを意識してパワーアップの事業も含めて情報を集めて、気持ちを高めていけば、商工会議所青年部の全国大会にも繋げていける。

#### 4. 閉会

## □第2回おもてなし情報発信プロジェクト会議 議事録

---

日 時： 平成20年5月20日（火） 午後4時30分～午前6時30分

場 所： 社会教育会館 1階会議室

参加者： メンバー 福井、木村、町田、八森、勝部、井上、山本、井上、高栖

オブザーバー 加藤、浦野

事務局 山下、堀出、高木、山中

(50音順・敬称略)

---

### 1. 開会（福井）

### 2. メンバー自己紹介

### 3. 本プロジェクトの進め方について（福井）

### 4. 資料「地域密着型情報発信ポータルサイト事例」の説明（加藤）

### 5. 意見交換

- ・ ネット上で紹介して見るだけというのでは、団体をつなぐことは無理である。間に人が入ってはじめて成り立つ。
- ・ つなぐ以前に何と何をつなぐかの情報把握が必要なので、情報共有のひとつの方法として事例を紹介していただいた。間に人が入るとしても、まず、情報共有しておかないと何と何をつないだらいいかわからない。
- ・ このプロジェクトの対象は中心市街地ということだと理解しているが、この狭いエリア内で地域SNSというようなたいそうなシステムがいるのか疑問である。
- ・ 地域SNSは、将来的に行う理想的な事例として紹介してもらった。本プロジェクトの方針のひとつとして、出来るところからやってみようということがあるので、その試行として（株）まちづくり大津のホームページが立ち上がった。ここではカレンダーを比較的容易に掲載でき、更新できる。今秋は、試しに（株）まちづくり大津のホームページにこのようなカレンダーと掲載情報募集の旨を載せてPRし、情報共有できるか試してみてもどうか。
- ・ そもそも、中心市街地で十分にイベントをやっている大津市が、このプロジェクトで更に何をしようとしているのか。
- ・ 中心市街地においてたくさんの団体がイベントを行っているが、連携できていないとの批判も受けている。いろんなイベントが連携し、より効果的に出来たらというのが前回の会議で決めていただいたこのプロジェクトの目的のひとつである。
- ・ イベントが連携するといっても、イベントひとつひとつが違った目的や思いを持ってやっているのを簡単に連携させるのは難しい。場を提供するくらいになるのではないか。しかも、それでも、間に人が入らないと無理だろう。前回の会議で今秋に、このプロジェクトで商工会議所やJCをはじめとして一緒にやりたいという人をつなぐということになった



のではないか。

- ・本プロジェクト委員の知り合いの人たちだけが連携するのであればよいが、出来れば今後も活かせるようなシステムを考えて、そのモデルとして今秋実行したい。また、前回名の知れていない小さな団体のすることにも場を貸してあげれば、効果が大きくなるので、何とかしてあげたいというご意見をいただいたために、誰でもが情報共有できる方法としてインターネットを提案した。他に方法があれば、それでもよい。また、このプロジェクトは、数々のイベントを実際に行ってきたイベントのプロの集まりであると認識しているので、このグループで研究した結果、連携は言うのは簡単だが現実には無理であるという結論を出していただくのもひとつの選択肢だと考えている。
- ・せっかくだからこのカレンダーも用いて、秋に試しにやってみて検討を行ってはどうか。秋のスケジュールはどうなっているのか。

#### <勝部委員より 商工会議所青年部全国大会の詳細スケジュール紹介>

・食と灯りの祭は、今年は10月4日から12月31日の期間で実施することを予定しているので協力したい。10月4日は大津祭の山建てに合わせて点灯式を行うので、場を提供し、連携を呼びかけたい。大津祭に併せて福井リーダーを中心に商店街まちなか灯りイベントを、スポレクに併せて八森委員を中心に食ウォークを、司厨士協会との調整が必要であるが、商工会議所青年部全国大会に併せて楽食長卓宴が出来ないかと考えている。また、食マップについても連携して行いたい。

- ・スポレクに併せて、市ではふれあい行事を予定しており、はまおおつフェスタや健康フェスティバルを同時開催したいと考えている。また、食マップについて、前回の会議で皆さんの意見を基に連携の案を作成した。

#### <事務局より 新・大津まちなか食マップの作成(案)紹介>

## 6. 閉会

## □第3回おもてなし情報発信プロジェクト会議 議事録

日 時： 平成20年6月25日（水） 午後6時～午後8時30分

場 所： 社会教育会館 1階会議室

参加者： メンバー 福井、木村、八森、勝部、山本、井上、高栖

オブザーバー 加藤、浦野

事務局 小西、高木、山中

(50音順・敬称略)

### 1. 開会（福井）

### 2. 平成20年度におけるおもてなし情報発信の取り組みについて（福井）

### 3. 意見交換

- ・前回の会議では、大津祭、スポレク、商工会議所青年部全国大会といったイベントに合わせて食と灯りの祭等を実施し、情報の収集と共有、発信の実験をしようということで意見は集約できた。具体的には、イベントでの場の提供とマップの共通化だ。
- ・昨年度行った食マップは、紙版のマップからパワーアップさせてウェブ上で展開する。
- ・基本は元気回復委員会、柁まちづくり大津の協力で行い、さらに商工会議所青年部、J C、ナす美の会、商店街等からも情報収集の協力をお願いしたい。
- ・情報収集の協力は求めるにしても、こちらでしっかり管理し、まとめて行く必要がある。
- ・集まってきた情報については、実行委員会が柁まちづくり大津に委託し、まとめてもらう予定である。
- ・掲載情報は飲食情報と観光情報等、みどころの掲載を予定しているが、今回の事業でうまくいけば、そのシステムを活かし、町家情報、より詳細な観光情報などに発展させていくことが可能だ。
- ・みどころの掲載については、柁まちづくり大津と話あって情報を整理する予定だ。元気回復委員会のフットミル(60cm四方の足元観光情報案内板)がある場所なども掲載したい。
- ・情報収集はすぐに始め、盆明けまでにウェブのシステムをつくり、情報の入力をしていきたい。9月中ごろまでに入力を完了し、インターネット上で公開する予定だ。サーバー等の設定は柁まちづくり大津で既に調整をはじめている。
- ・試験的に行う今回は難しいが、ウェブユーザーからの情報提供により、掲載情報を重層化していくのが理想的である。今回の計画では、インターネット上でマップを作成することにより、管理者が情報を簡単に更新していけるということである。
- ・11月8日の商工会議所青年部全国大会に併せて、「楽食長卓宴」を琵琶湖ホール付近で行うことを司厨士協会と調整している。
- ・なぎさ公園に整備されるオープンカフェをPRするねらいもあるので、晴れたらその周辺で行い、雨の場合は会場を変える。
- ・商工会議所青年部全国大会の参加者3000人に対して、青年部で企画している物産展は20店舗くらいなので、「楽食長卓宴」の実施はありがたい。
- ・まちなか食ウォークはスポレクに日程を併せる。当日は、大津市のイベントも同時開催さ

れるのでタイミングが良い。

- ・まちなか食ウォークへの参加店舗募集は、各商店街の理事長に話を通して、こちらで声かけをする旨了解を得る。その際、予め声かけする店舗のリストを作成し、確認をしてもらう。
- ・内容は、参加料を500円でハシと皿を配って5店舗を参加者に巡ってもらう。今年は補助なしで行うよう工夫し、できるだけ参加者を増やしたい。1食100円とは限らず、店に努力してもらってお得感を出してもらいたい。
- ・スポレクの日イベントが重なるので、あまり多くの参加者があると店の対応が難しくなる。
- ・食ウォークはチケット販売など京阪浜大津駅中心に行いたいとおもうので協力をお願いする。
- ・食ウォークのエリアは歩ける距離が限界であり、大津駅前商店街、ナカマチ商店街、浜大津商店街を対象にする予定だ。
- ・食と灯りの祭の点灯式では、音楽や食のイベント等いろいろな団体に出店協力を呼びかけたい。サマーフェスタの食のブース出店者に声をかける。浜大津商店街もJCも出来る限り協力をお願いしたい。
- ・連携して行うイベントを一度カレンダーにし、この期間でさらに盛り上がるようにいろいろ声をかける。
- ・イルミネーションの期間中になるべく他団体に呼びかけて参加してもらい賑わいを創出する。
- ・商店街でも計画段階であるが、ナカマチと京町の通り沿いで灯りの設置を検討している。
- ・なぎさ公園の点灯式会場では、連携したい団体は、名目や内容によるが活性化に繋がるものであればできる限り連携できるようにしたい。
- ・本年度のパワーアップ事業についても、連携を呼びかける。
- ・音楽イベントは、連携は難しいのではないかと。同時に行うのではなく違う日にあったほうがよいこともある。
- ・今、ジャズフェスをしようという話がある。高槻ジャズストリートを仕掛けた方に講演会を依頼してはどうか。大津といえばひとつこれだというイメージづくりの参考になればと思う。
- ・講演等をやるなら、どこが主体になるかが問題であるし、もっと慎重に検討すべきである。なぜその人なのかという意味づけも必要である。
- ・このプロジェクトでまちづくりの視察もかねて研修に行き、よければ大津での講演会等さらに多くの人に聴いてもらう可能性も検討する。

#### 4. 閉会

## 大津市中心市街地活性化協議会おもてなし情報発信プロジェクト会議名簿

氏 名	所 属 団 体	備 考
福井 美知子	石坂線 21 駅の顔作りグループ代表・ナす美の会世話役	プロジェクトリーダー
木村 浩一	京阪電気鉄道(株) 大津鉄道事業部長	
町田 有司	株式会社大津パルコ店長	
八森 茂樹	(社)大津市商店街連盟 専務理事	
勝部 伊織	大津商工会議所中心市街地活性化専門部会	
井上 建夫	びわ湖ホール館長	
山本 進一	大津まちなか食と灯りの祭実行委員長	
井上 伸一	大津青年会議所 理事長	
高栖 清	タウンマネジャー	

事務局	まちづくり大津	課長	山下	充美
	大津市都市再生課	課長	堀出	正治
		主任	高木	裕司
		主任	山中	俊樹
オブザーバー	コム計画研究所		加藤	寛之
	コム計画研究所		浦野	義人